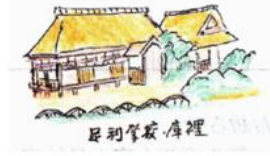


# 足利の史蹟を巡る日帰りバス旅行

## 88名参加で楽しい一日を満喫！



日時：2014年6月29日（日） 午前8時鶴瀬駅西口バス2台

行先：足利の史蹟を巡る（足利学校・鏝阿寺・足利織姫神社他）

参加者：88名（男性23名、女性65名）【女性が74%と多数】

富士見市民大学では去る6月29日（日）、初めての企画として全講座受講生合同による、課外講座「日帰りバス旅行」を実施しました。

募集定員80名に対し、キャンセル待ちが出るほどの、お申込みを頂きました。ご参加出来なかった方々には、大変申し訳なく思っております。

当日は、折りからの局地的ゲリラ豪雨の影響で、早朝目覚めると何と外は大雨、一気にとてもブルーな気持ちになりました。

処が一転、ご参加の皆さんの心がけが良かったと見えて、出発時にはものの見事に晴れ上がりました。しかも見学中のみ絶好の日和となり、スタッフ一同ほっと胸をなでおろしました。

### <見学先ひとくちメモ と スナップ写真>

足利は、栃木県の南西部に位置し、関東平野の北端、足尾銅山のすそ野にあります。渡良瀬川の舟運、利根川と合流し江戸へ。東山道は畿内から奥羽に至る陸送は、足利織物、天明鋳物、殺生石灰などを運ぶ「交通路」は両毛地区の発展を促した。

同時に古くから多数の文人・武人が訪れ、足利の豊かな歴史と風光明媚な景観は、訪れる人たちを魅了しています。

○集合 鶴瀬駅西口 7：40

○スタート 8：00

所沢ICより  
関越道

\*これ以降、  
時間は交通事情により変動\*



○上里SAにて、休憩



○太平記駐車場 着



○

**足利学校**

日本最古の総合大学

上杉憲実（1411～66）関東管領のとき書籍（国宝）を寄進、また学長制を設けるなど学校を再興しました。

永楽4年（1432）宣教師のフランシスコ・ザビエルは本国のイエズス会への書簡に「日本国中最も大にして、最も有名な坂東の大学」として世界に紹介され、最盛期には学徒3000人といわれるほどになりました。



○

**餺阿寺**

大日さまと呼ばれています

建長元年（1249）創建、6代足利兼教（1429～41）・足利氏の守り本尊。鎌倉時代の武家屋敷の面影を今に伝えています。  
桜門、大御堂、多宝塔など重要文化財。833畳分の石畳が続く山門の、大日通りは素晴らしい。





○そして、大津栄本店へ



○昼食（大津栄本店）



○

## 足利織姫神社

## 足利の織物の守り神

229段の石段を登りきると産業振興、縁結び、関東平野が一望できます。朱塗りの神社です（京都の宇治平等院を模して造られました）。足利の銘仙などは、西の西陣、東の足利といわれました。



○別コース（石段229段を行かない方）として、足利織物伝承館



○香雲堂本店（買物）



○足利 I C から、東北道へ  
そして、羽生 S A にて、休憩



○外環道の新倉 P A にて、休憩

○鶴瀬駅西口 到着

<行程での、スタッフの感想など>

往復のバスの中では、行きは①担当スタッフより、当日の見学先についての、簡単ガイドがあり②参加型ツアーの趣旨から、ご参加の皆さんお一人おひとりから自己紹介を頂き、座席のお隣さんを初め、皆さんのお名前を知ることから親睦を深めました。

帰りの車内では、高速道路の渋滞も考え、スタッフによる手作りコーナーで長旅の疲れを癒して頂きました。まずは、ビンゴゲームで豪華景品(?)を、続いて雑学クイズでは、博識の方が多く正解者多数となり、スタッフとのじゃんけんで賞品をゲットし大いに盛り上がりました。

最後は、女性スタッフの歌唱指導により用意した「旅のしおり」の中から、全員で昭和の歌をたくさん合唱しました。さすが皆さんよくご存じでした。

最後は、何と言っても皆さんお待ちかねのお土産コーナーです。足利の老舗最中屋さんに立ち寄りしました。こちらは最中だけでなく、煎餅そして洋菓子もあり、特に女性の皆さんは狭い店内で、先を争って買い求めていました。

店内に入った時は快晴だったのに、出る時には例のゲリラ豪雨で、皆さん大慌て。バスDRからとお店からも傘を借りて駐車場で待つバスへ。たくさん買い求めたお土産も、何とか無事でした。

鶴瀬駅西口には、事故渋滞があったこともあり、予定時刻より少し遅れての到着となりました。幸いケガ人もなく、何よりでした。きっとご満足頂けたことを信じて、家族の待つご自宅へと向かわれる皆さんを、スタッフ一同で見送りました。次回開催に向け、下車時に頂いた「アンケート」のご要望を参考にして、頑張る所存です。

|       |                      |
|-------|----------------------|
| 報告責任者 | 秋山孝昭                 |
| 同行役員  | 小山健次郎、江良和子、狐塚勝男、堀川英雄 |
| //    | 島田弘昭、安藤隆一、小林澄代、家入紀雄  |
| //    | 小林隆子、三上聡雄            |